

地方創生応援税制

— 企業版ふるさと納税 —

都心から一番近い森林があるまち



森林文化都市はんのう 賑わい活力創造プロジェクト

人と自然が共生する飯能市の魅力を上げたい。

緑の山が佇み、清らかな川が流れ、この地で培われた歴史と新たに育まれる文化と人のやさしさとあたたかさがある。

そんな飯能市のプロジェクトを皆様の寄附で応援してください。

飯能市

プロジェクトに取り組む飯能市の考え方

1. 北欧に学ぶまちづくり
2. 幸福度の高い生活の実現

本市は、プロジェクトに取り組むための考え方をもとに、市内に点在する主要な観光資源を連結した魅力あふれる「都市回廊空間」の構築を大きな目標としています。

以下に紹介する事業は、皆様からの寄附を活用しながら実施していくものの一例です。

1. 北欧に学ぶまちづくり

① 宮沢湖周辺の魅力アップ

宮沢湖周辺には、本市の観光拠点の核となっているメッツァが開業しました。

豊富な自然を満喫できるよう「自然遊歩道」を整備するなど、メッツァだけでなくお越しいただいた方に楽しんでもらう取組を行っています。

この遊歩道は、日常の利用だけでなく、様々なイベントにも使用されており、本市の一大イベントである、「飯能新緑ツーデーマーチ」のコースとしてもこの遊歩道は使用されています。



② トーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園の魅力アップ



トーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園は、平成記念子ども森公園として指定（全国15か所に指定）され、平成9年7月に開園した20年以上の歴史がある公園です。

公園名にあるように北欧童話の原作者である「トーベ・ヤンソン氏」との手紙のやり取りから生まれたこの公園は、トーベ・ヤンソン氏の「子どもたちが自由に遊んだり、安らいだりできる場所」という想いを大切に守り続けてきました。

公園が今後も魅力的な場所として多くの方に楽しんでいただけるよう、魅力アップとして、カフェがオープン（平成30年6月）いたしました。

そのほかに、ライトアップも開始（平成31年3月）され、来園者を北欧童話の世界へ引き込むような新たな取組を行っています。



③ 飯能河原・天覧山周辺の魅力アップ

飯能河原は、駅から徒歩で行けるバーベキューの聖地として親しまれ、川遊びや釣りなどが楽しめる人気スポットです。昼から夕方にかけて多くの人で賑わうこのスポットをライトアップし、様々な情景を楽しむことができるよう整備するなど、飯能河原・天覧山周辺の魅力アップを行っています。



④ 山間地域における観光・交流拠点等の整備、魅力アップ

市街地の賑わいを山間地域へと波及させるため、山間地域の観光・交流拠点の整備を行っています。

名栗地区にある農林産物加工直売所をリニューアルし、新たに北欧文化を体験できる複合施設「Nolla naguri（ノーラ名栗）」が誕生します。

豊かな自然を享受しつつ、山間地域の観光拠点、また、森林体験や環境教育の場として魅力アップを図っています。



RENEWAL OPEN
Cafe&Shop
YAMASEMI
2020.04.01(Wed)



⑤ 都市回廊空間を中心とした観光拠点を結びつける整備

⑥ シティプロモーション

飯能市ご当地アプリを活用したスタンプラリーを開催するなど、市内の回遊性を高める取組を実施したほか、公共Wi-Fiの整備や、バス案内の多言語化、キャッシュレス決済の導入など、インバウンドをはじめとした、様々なニーズへの対応を図っています。

また、商店街でのフラッグ掲示や、電車の中吊り広告掲載など、積極的なシティプロモーションを行っています。



2. 幸福度の高い生活の実現

① 移住、定住を促す選ばれるまちづくり

移住・定住の取組として、自然のなかで、「農」にふれる毎日を通じ、ゆとりと潤いのある生活を満喫していただく「飯能住まい制度」を実施しています。

また、子育て環境の充実を図るため、中学校卒業までの医療費助成やインフルエンザの予防接種の無償化を実施しているほか、平成31年度から山間地域に新たに創設した「奥武蔵創造学園」では、飯能市の教育のモデルケースとして学びの共同体が創る「21世紀型の学校」を目指し、魅力ある「新しい学校づくり」に取り組むなど、移住・定住を促す選ばれるまちづくりを行っています。



農のある暮らし **飯能住まい**



② フィンランドとの交流

本市とフィンランド共和国との関わりは、「トーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園」から始まり、宮沢湖周辺に開業した「メツァ」、教育の分野での「フィンランドの教育から学ぶ新たな学校づくり」など、深い関わりがあります。

様々な面でフィンランド文化への関心が高まる中、これまで以上にフィンランドに対する親近感を醸成させ、心豊かな地域づくりを推進するため、「飯能市フィンランド協会」が設立されました。

「飯能市フィンランド協会」では、文化、教育、経済活動などの交流を通じて、フィンランド共和国との相互理解を深め、友好親善を深めるための取組を行っています。



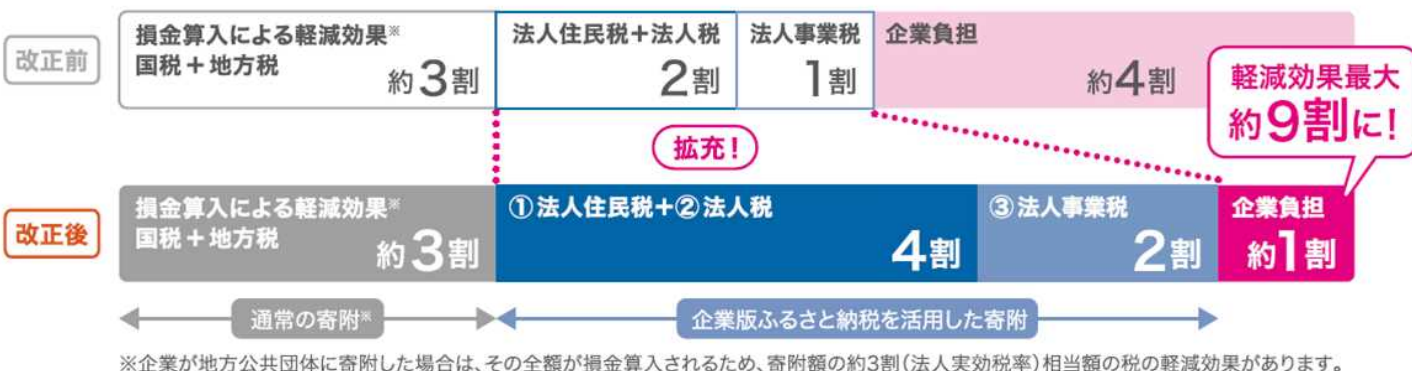
企業版ふるさと納税って？

企業の皆様が、寄附を通じて
地方公共団体の行う地方創生の取組を応援した場合に、税制上の優遇措置が受けられる仕組みです。

制度の概要

企業版ふるさと納税は、国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクト（飯能市のプロジェクトは令和2年3月に認定を受けました。）に対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組みです。

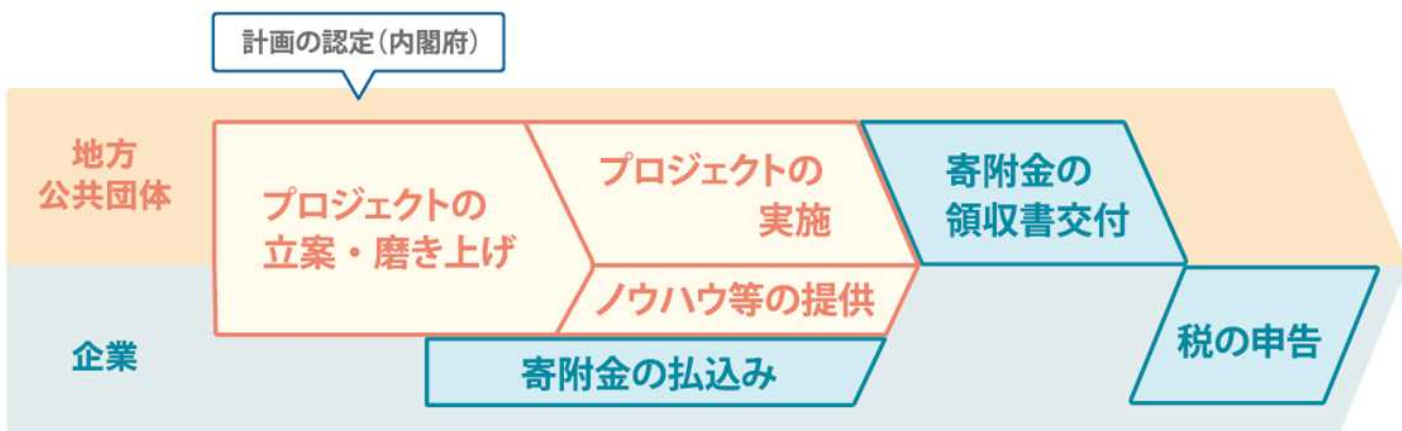
この度、地方創生の更なる充実・強化に向けて地方への資金の流れを飛躍的に高める観点から制度が大幅に見直されました。これにより、損金算入による軽減効果（寄附額の約3割）と合わせて、**最大で寄附額の約9割が軽減され、実質的な企業の負担が約1割まで圧縮される**など、より使いやすい仕組みとなりました。



税目ごとの特例措置

- ① **法人住民税** 寄附額の4割を税額控除（法人住民税法人税割額の20%が上限）
- ② **法人税** 法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税制控除。ただし、寄附額の1割を限度。（法人税額の5%が上限）
- ③ **法人事業税** 寄附額の2割を税額控除（法人事業税額の20%が上限）

制度活用のイメージ



企業側のメリット

社会貢献

企業としてのPR効果
[SDGsの達成など]



地方公共団体との新たな
パートナーシップの構築

地域資源などを生かした
新事業展開